

「授業」で生徒を、学級を伸ばす 第1回

# 中学校教育の 不易と流行

中学校は、戦後から一貫して、

3年間の後期義務教育を担う重要な役割を果たしてきた。

いかに社会が変化しようとも、今後の中学校教育において

大切に続けたいことは何か。それを守るために

どのような視点で変化を受け止め、進んでいけばよいのか。

校長先生の対談と学校の取り組み事例から考える。



# 中学校教育の歩み

1947(昭和22)年に「6・3制」の新学制が実施されてから2011年度で64年を迎えた。中学校教育の変化を、主な出来事と統計データからまとめた。

50 1975	45 1970	40 1965	35 1960	30 1955	25 1950	昭和20年 1945年
●主任制度の実施	◎大学・短大進学率が3割を超える ●教頭職の法制化	●学級編制の標準を50人から45人に引き下げ	●学校給食法公布	●教育基本法・学校教育法公布 ●新制高等学校発足	●新制による小学校・中学校発足 ●学習指導要領(試案)発行	●教育基本法・学校教育法公布 ●新制による小学校・中学校発足 ●学習指導要領(試案)発行
<p>●学習指導要領告示「系統性の重視」</p> <p>●学習指導要領告示「教育内容の現代化」</p> <p>●クラブ活動必修化 ◎大学・短大進学率2割を超える</p>						

## 経済成長に対応した教育の量的拡大

産業経済の発展、所得水準の上昇により、教育に対する国民の熱意が強まる

### 3年間の授業時数

3535時間

昭和47年

3360時間

※選択教科により時数が変動した

昭和46年

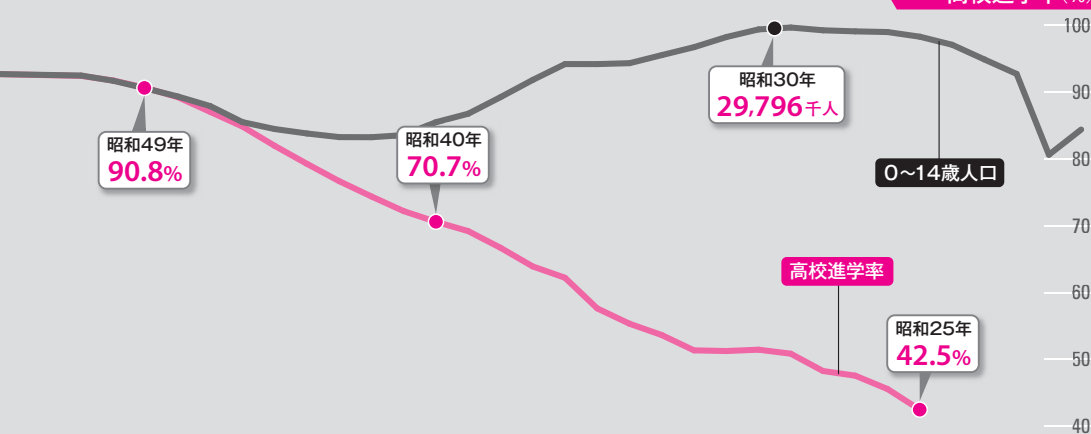
3045~3570時間

※選択教科により時数が変動した

昭和36年

昭和22年

### 高校進学率(%)



### 参考文献

- ◎文部科学省「学校基本調査」「学制百年史」「学制百二十年史」「わが国の教育の現状」「わが国の教育水準」「中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会 第4期第3回資料」「生徒指導上の諸問題の現状について(概要)」
- ◎教育情報ナショナルセンター(国立教育政策研究所教育研究情報センター)「過去の学習指導要領」
- ◎全日本中学校長会「中学校教育六十年」
- ◎Benesse 教育研究開発センター「第2回子ども生活実態基本調査」
- ◎国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」「人口統計資料集」

「授業」で生徒を、学級を伸ばす

第1回

# 中学校教育の不易と流行

30	25	20	15	10	5	平成元年	60	55
2020	2015	2010	2005	2000	1995	1990	1985	1980
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎新学習指導要領で6年間学んだ児童が中学1年生に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎新学習指導要領施行</li> <li>●全国学力・学習状況調査(理科を追加)</li> <li>●PISA2012</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)2011</li> <li>●全国学力・学習状況調査(抽出調査に変更)</li> <li>●PISA2009 ◎携帯電話所持率男子44%、女子56%</li> <li>●学習指導要領「生きる力」</li> <li>●国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)2007結果発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育基本法改正</li> <li>●PISA2006</li> <li>●教育再生会議設置</li> <li>●教育三法改正</li> <li>●全国学力・学習状況調査(悉皆調査)</li> <li>●学習指導要領「生きる力」</li> <li>●国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)2007結果発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎大学・短大進学率が5割を超える</li> <li>●国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)2003結果発表</li> <li>●PISA2003</li> <li>●国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)2003結果発表</li> <li>●教育基本法改正</li> <li>●PISA2006</li> <li>●教育再生会議設置</li> <li>●教育三法改正</li> <li>●全国学力・学習状況調査(悉皆調査)</li> <li>●学習指導要領「生きる力」</li> <li>●国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)2007結果発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●21世紀教育新生プラン(レインボープラン)</li> <li>●確かな学力の向上のための2002アピール「学びのすすめ」</li> <li>●完全学校週五日制</li> <li>●PISA2000</li> <li>●教育改革国民会議「教育改革国民会議報告」教育を変える17の提案</li> <li>●PISA2000</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校週五日制(月2回)</li> <li>●中教審答申「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」(第1次答申)</li> <li>●中教審答申「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」(第2次答申)</li> <li>●学習指導要領「生きる力」</li> <li>●部活動、教育課程外に</li> <li>●中高一貫教育の制度化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「校内暴力」多発(年間3547件)</li> <li>◎「いじめ」多発(小・中・高校全体の約半数で発生)</li> <li>◎臨時教育審議会(臨教審)設置</li> <li>◎「いじめ」多発(小・中・高校全体の約半数で発生)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学級編制の標準を45人から40人に引き下げ</li> <li>●学習指導要領「ゆとりと充実」</li> </ul>

## 「知の更新」を目指して

知識基盤社会において、国際社会に生きる日本人としての資質・能力の重視。地域・家庭との連携の動き進む

## 「生きる力」の育成と総合的な学力の重視

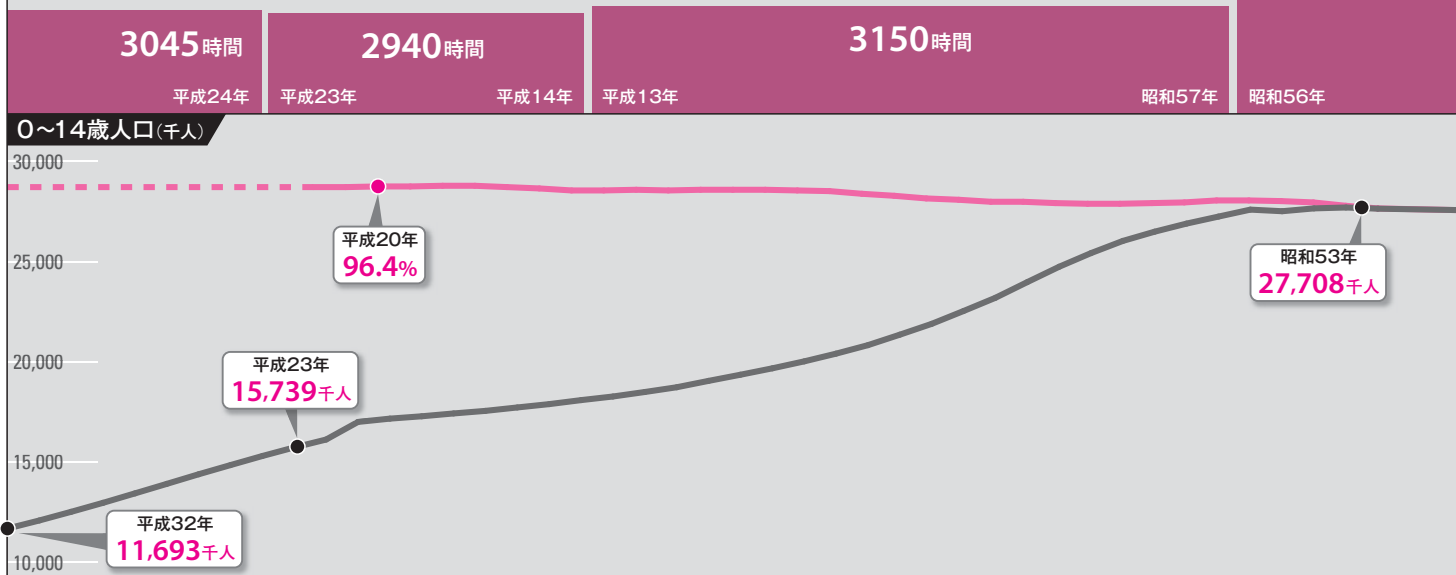
国際化が進む中、公教育への不信感が高まる。確かな学力と豊かな人間性の育成を重視

## 個性重視と変化への対応

知識集約型産業への転換、地方分権の進展の中、個性重視の原則、生涯学習社会への移行。いじめや不登校の問題が顕在化

## 安定成長下の教育の質的向上

経済の安定成長期。受験戦争が激化し、校内暴力の問題が顕在化



\*2012(平成24)年以降の項目・数値は変更の可能性があります